

自然科学系

第2編

■本編は工学部、理学部、自然科学研究科及びその附属施設を含めた自然科学系部局に関するものである。自然科学系の部局は、すべてその起源は1887(明治20)年創立の第五高等学校(以下五高)に帰着する。五高には、1897(明治30)年に工学部が設立され、1906(明治39)年にはそれが熊本高等工業学校として独立し、1944(昭和19)年に熊本工業専門学校と改称した。更に戦後の学制改革により1949(昭和24)年に熊本大学が発足した際、その工学部として再編成されたものである。五高の教育は、理科と文科のクラスに分かれてなされていたが、熊本大学理学部は同じ戦後の学制改革のとき、五高の理科の教員をその主な構成員として発足したものである。その後、1965(昭和40)年に工学研究科(修士課程)、翌1966(昭和41)年に理学研究科(修士課程)が設置された。自然科学研究科は、博士課程をもつ独立の大学院として、工学研究科及び理学研究科を母体として2年の準備期間を経て1988(昭和63)年に正式に発足し、これで学部、修士課程、博士課程まですべての教育の体制が整い、また教員も全員自然科学研究科に所属し、国立大学法人の高等教育機関として遜色のない組織となった。